

西宮市議会だより

Nishinomiya city assembly news



3月定例会
第159号

TOPICS

▶ 令和6年度予算について ▶ わが会派はこう思う



夙川の紫陽花

CONTENTS

- 3月定例会の主な内容、審議日程など 2
- わが会派はこう思う 3～6
- 一般質問、5月臨時会・6月定例会の開催予定 6～11
- 議案等審議結果一覧表 12

区分	予算額	前年度比
一般会計	2032億 976万円	4.1%増
特別会計	944億3949万円	4.2%増
企業会計	463億8744万円	2.5%増

◆一般会計(主な内容)

- 教育費** 瓦木中学校教育環境整備事業の進捗による増など **約22億円の増額**
- 土木費** 山手幹線(熊野工区)街路事業の進捗、JR西宮駅南西地区市街地再開発事業による増など **約20億円の増額**

一般会計では、清掃施設や学校施設の整備費、障害者介護給付、児童手当などの増により、当初予算としては阪神・淡路大震災直後の平成7年度を除いて過去最大となりました。また、特別会計は介護保険や後期高齢者医療事業が大幅に伸びており、企業会計は工業用水道事業において建設改良費が大幅増となりました。

3月定例会 主な内容

令和6年度当初予算

可決

3月定例会の主な内容をお知らせします。全ての議案等の審議結果はP12をご覧ください。



条例(議員提出)

可決

西宮市議会議員の議員報酬等の支給等の制限に関する条例の一部改正

西宮市議会議員が長期にわたって市議会の会議を欠席した場合に、議員報酬等を減額するための改正条例案が議員提案され、賛成多数により可決されました。

これにより、議員が市議会の本会議や委員会の会議を欠席した日から起算して、会議に出席することとなるまでの期間が、181日目から365日目までの期間が、議員報酬の50%が減額となり、366日目からは全額不支給となります。また、期末手当についても欠席の期間に応じて減額が行われます。

意見書

可決・全会一致

全国一律の子ども医療費助成制度の創設を求める意見書

子どもの医療費助成制度は、自治体のそれぞれが独自に実施しているため、住んでいる地域で助成の対象年齢や自己負

主な審議日程

2月	
21(水)	本会議 施政方針の表明、提案説明
28(水)	本会議 代表質問(7人)
29(木)	
3月	
1(金)	
4(月)	本会議 一般質問(19人)
5(火)	
6(水)	本会議 一般質問(1人)、質疑、委員会付託 予算特別委員会(全体会)
8(金)	常任委員会(総務、健康福祉、教育こども)
11(月)	常任委員会(民生、建設)
13(水)	予算特別委員会(総務、健康福祉、教育こども分科会)
14(木)	予算特別委員会(総務、健康福祉、教育こども分科会)
15(金)	予算特別委員会(総務、民生、建設分科会)
18(月)	予算特別委員会(民生、建設分科会)
25(月)	予算特別委員会(全体会)
	本会議 委員長報告、討論、採決 常任委員会(総務、健康福祉、建設) 議会運営委員会

担の有無など、助成内容に差異が生じています。

自治体間の差異を解消し、国の将来を担う子どもたちが必要な医療サービスを受けられることができるようにするため、全国一律の子どもの医療費助成制度を国の責務として、早期に創設するよう強く求める意見書を全会一致で可決し、国に提出しました。

請願

不採択

年金制度における外国人への脱退一時金の是正に関する意見書提出を求める請願
日本国籍を有しない方が、公的年金の資格を喪失して日本を出国した場合、脱退一時金の請求が可能です。しかし、同制度は再入国を妨げておらず、後に永住資格等の申請を行うこともできるようになっており、公的年金の脱退ができない日本人との間で大きな差が生じています。このため、脱退一時金を請求した方は、永続的に帰国する前提であるという制度の趣旨に立ち返り、政府において必要な

人事案件

同意・全会一致

西宮市教育委員会教育長の任命

令和6年3月31日に退任する重松司郎教育長の後任として、文部科学省初等中等教育局幼児教育課長の藤岡謙一氏を選任することが全会一致で同意されました。任期は令和6年4月1日から2年間です。

請願

▽次期介護保険料の引き下げを求める請願

▽国に対し「訪問介護の基本報酬の引き下げ撤回と、介護労働者の全産業平均の賃金保障を求める意見書」の提出を求める請願

不採択

わが会派はこう思う

このコーナーでは、各会派の考えを文字どおり自由に述べています。テーマや誌面の使い方、言葉遣いなど各会派の責任で執筆していますので、さまざまな角度から西宮市議会の等身大の姿を感じていただければと思います。

(長)＝幹事長

執筆は3月21日時点



日本維新の会

西宮市議団

- 多田 裕(長) 江良健太郎
- 浜口ひとし 渡辺けんじろう
- あこめいひい 今泉ゆづた
- 前島のぶなが 前田しほつじ

日本維新の会西宮市議団は、令和6年度予算に賛成の立場で

はありますが、課題についての意見を記載します。

財政構造改善基本方針について

今後の財政収支見直しを踏まえ、早期に実質単年度収支の均衡を保つことを目標とし、単年度で40億円以上の収支改善を目指す中で、新年度は非常に重要です。財政構造改善に取り組む姿勢のひとつとしては、事務事業の取捨選択と効率化を徹底することが示されています。一方、令和6年度では、459ある事務事業のうち369事業、実に80%以上が「現状通り継続」。「手法・内容の見直し」とされたものは42事業に留まっています。全ての事務事業を再度見直すよう強く求めてまいります。

人件費について

令和5年度に新たな給料表を導入したとはいえ、基本方針に基づき市民サービスを縮小せざるを得ない地方自治体として、さらなる見直しによって人件費の適正化に取り組むこと。ポイントとしては、①明確な目標を設定した上での超過勤務時間の縮減、②国や近隣他都市と均衡を失している制度などについて見直しの遵守、③これまで以上

に効率的な組織運営を実現するための人事評価制度の運用、これらを強く要望します。

投資するべき分野

一方で、すべてを縮小するのではなく、費用を投じるべき分野には投じるべきと考えます。一例が、子ども施策です。「西宮市幼児教育・保育のあり方について」の所管事務報告において示された、「子ども教育・施策への投資は未来のまちづくりに欠かせないもの」という考えに基づくならば、18歳までの医療費完全無償化についても同様です。令和7年度からの実施に向けて予算確保に尽力するよう要望します。

私たちは、財源確保策と住民福祉の増進を図るための政策提案に引き続き取り組みます。



公明党議員団

- 大川原成彦 山田ますと
- 大原 智 松山かつり(長)
- 松田しげる しげひさ大学
- 山口まゆみ

公明党議員団は、令和6年度予算については、賛成の立場で

すが、厳しい財政状況を考慮すると、効果的・効率的な予算執行を求めることを強く申し述べておきます。

市政100周年記念事業については、目の前の課題に敢然と立ち向かい、市民に大いなる夢と希望を届けるようなメッセージとなる、決意あふれることを期待します。

財政構造改善基本方針について

て、市民に直接影響する事業の廃止または見直しについては、慎重な検討を行っていただくとともに、市民への理解を得るためにも、透明性のある決定過程を行っていただきたい。

阪神西宮駅北側地区公民連携事業については、新中央図書館の設置と合わせて、市民の憩いの空間と、全ての世代が集える



駅前広場にしていただきたい。公立認定こども園整備事業については、地域の実情に応じた整備に努め、全ての子育て家庭が安心できる取り組みを行っていただきたい。

医療的ケア児等支援体制については、医療的ケア児等コードイナーの配置により、今更以上で重層的な相談体制の充実と、退院後の相談など、より高度な相談支援につながることを期待します。

学校施設長寿命化計画については、他の施設との複合化や、規模の縮小・合築など少子化を見据えた計画を行い、図書室の市民開放や他の施設との機能の連携も検討していただきたい。

地域防災力の強化については、担い手が不足している地域も存

在していますが、若い方や女性の防災リーダーの育成は、避難所の運営面からも重要であることから、大学との連携強化を一層強めていただきたい。

環境学習のバージョンアップ の新たな取り組みについては、

自然豊かな姉妹友好都市、樟原町・奄美市と連携を検討し体験型学習につなげていただきたい。

市民クラブ

.....
おくの尚美 河崎はじめ

田中あきよ 中尾 孝夫

花岡ゆたか[◎] 宮本けいこ



○財政難

厳しい財政状況にあるものの、萎縮した政策に頼るのではなく、

市民を不安にさせない希望ある予算組みが必要であると考える。事業縮小について取捨選択が行われることになるが、市民の生活に直結する事業を、財政難を理由にカットすることはよく考えていただきたい。

○市制施行100周年

西宮市は、来年、2025年市制施行100周年を迎えます。西宮市出身のアーティストや芸能人・スポーツ選手等を招き、市民の記憶に残る大規模なイベントを行ってほしいものです。

○阪急武庫川新駅

長年の懸案事項であった、阪急武庫川新駅の実現が見えてきました。新駅設置に伴う都市計画道路の整備も大変重要です。駅と道路の整備により、甲東瓦木エリアの交通至便性の向上が期待されます。

○広域連携

財政健全化の一つに、市の各種事業の広域連携が考えられます。市が単独で行っている事業を近隣市と広域連携すれば、スケールメリットから各市の負担が抑えられます。

既に上水道は、阪神水道企業団からの受水で市のほとんどの

上水を賄っています。全国をみると、ゴミの収集と処理・消防・下水処理・火葬場等の広域連携化が見られます。中でも、既に飽和状態で友引にも火葬を始めた火葬場の機能拡大は急務です。近隣市も同じ状況にあります。幾つかの自治体で共同施設を持つ事が現実的でしょう。

○市の未利用地

土地は売ってしまうと、一時的な収入で終わってしまいます。そこで未利用地については、安易に売却してしまうのではなく、貸し付けて収入を得る方が有効だと考えられます。西宮消防署跡地を例に見えますと、55年の定期借地で、地代は1年で約3千万円、55年間で約17億円の収入が見込まれています。

会派・ぜんしん

.....
草加 智清 八木米太郎

澁谷 祐介[◎] 菅野 雅一

おおご純司郎 たかのしん

会派・ぜんしんは3月議会に

おいて職員給与を増額する条例・補正予算案に反対しました。

しかし、当該議案は賛成多数で可決されました。

昨年9月議会で会派所属議員が質疑した結果、本市財政は早ければ令和7年度には予算編成が困難になるかもしれないという危機的状況にあることが明らかになりました。本市の予算編成はここ数年、通常の収入で支出を賄うことができず、数十億円の基金取り崩しが常態化しています。このまま歳出が歳入を大幅に上回る状態が続けば、本市財政は遠くない将来、実質的に破綻します。

我が会派は、こうした状況を深刻に受け止め、厳しく指摘しました。結果、市は昨春秋に財政構造改善基本方針を策定。
●市有地の売却等によって収入を確保し、短期間での財政破綻を避ける

●行政サービスと人件費の削減によって、長期的に財政構造の改善を図る
等のを考えを示しました。しかし、示された内容には
●土地の売却等による収入として60〜75億円を見込む一方、具体的な売却地は示されていない
●行政サービスの見直しで市民

に負担を求める一方、人件費の削減は退職不補充による職員数の自然減が中心であり、市職員には目に見える負担を求めている
等、多くの問題があります。我が会派は、石井市長が財政の危機的状況と自らの責任を率直に認め、市職員に厳しい負担を求めた上で、市民サービスの削減に踏み込まざるを得ないと考えています。しかし市長は財政危機を認めず、職員の給料は大幅に増額した上で市民サービスの削減を進めようとしたため、当該議案に反対しました。会派・ぜんしんは引き続き、市当局に厳しい姿勢で臨むと共に、財政状況改善のための具体的な指摘・提案等を行っていきます。



啓誠会

川村よしと 坂上 明
坂本 龍佑(長) 田中 正剛
松本たかゆき

啓誠会は令和6年度予算に賛成しましたが、市政運営は財政問題など多くの課題を抱えており、様々な観点で指摘しました。

■財政構造改善について…厳しい財政状況から、財政構造改善推進部が立ち上がり、年間40億円の赤字改善に取り組むための素案が発表されました。他市と比較して、過剰な事業の見直し、働き方の改善や土地の売却によって、財政の立て直しを図ると

いうような取り組みが中心です。我々は以前から効果の薄い事業に対して、逐一見直しを求めてきただけに、財政難になるまで事業の見直しが図られないことを、厳しく指摘しました。市民の皆様が同じ財源でより良いサービスを受けられるよう、効果

の見える化と廃止・新設の迅速化を引き続き求めてまいります。■まちづくり事業について…こ

れから西宮の街は大きく変化していきます。阪神西宮駅前の再整備、西宮総合医療センターの完成に伴う中央病院跡地の再整備、阪急武庫川新駅、東部総合処理センターなどは多額の予算を必要とします。市の施設総量は他市に比べて多く、何かを建てるなら、何かを減らすことで、施設総量を削減し、持続可能な都市の形成を目指すように要望しました。

■阪神西宮駅前では、北側の再整備に伴う図書館の移転計画が着手されます。市の負担を少しでも低減させるためには、共同事業を行う民間事業者と協議を行うことが必要です。他市で賑わい作りに成功している民間委託の事例を参考に運営面での議論を進めるべきです。

県との統合新病院の完成もあと2年です。統合に伴う、整備費や貸付金の免除などの負担の合計は約146億です。市立中央病院の跡地活用には、地域医療の確保と同時に財政改善を図るよう求めています。

■子育て・教育環境について…財政難の影響で、学校における児童一人当たりの管理運営事務

経費は削減されております。そのような状況において、市立幼稚園のことも園への移行を着実に進めることで、財源の確保と魅力ある教育環境の実現を要望しております。

次の世代からも選ばれ続ける街を目指し、啓誠会は市への提言を続けてまいりますので、今後ともよろしく願います。

日本共産党

西宮市会議員団

庄本けんじ
野口あけみ(長)
三好さつき

市は2022年度の決算において単年度実質収支が42億円の赤字となったことで、「財政危機」と言い募り、職員削減や事業の見直しなどの「財政構造改善」の基本方針を昨年10月に策定、今年2月には取り組みの大き

さを示しました。歳入増では、市有地の売り払い、公共施設使用料の値上げ等、歳出減では、公民館・市民館・共同利用施設の再編・縮減等が挙げられています。

とりわけ問題なのが公立幼稚園・保育所の再編です。市内を8ブロックに分け、今後10年で各ブロック内の公立幼稚園と保育所各1園を統合し、公立認定こども園とする方針です。新年度には、浜脇ブロックで、浜脇保育所と浜脇幼稚園を浜脇保育所の施設で統合し、南甲子園幼稚園を廃園します。このことによ

って市は、施設と職員縮減、廃園とする市有地の売却で歳入増をはかろうというのです。いまだ西宮市では保育所待機児童は解消されていません。そうしたなかで保育所定員を減らし、市有地を手放すことは大問題です。

一方市長は、「財政構造改善の取り組みで経費削減を図りつつ、公共施設の老朽化対策、まちづくりへの投資に資する事業などを重視した予算編成を行った」と表明し、投資的事業を前年度より4割増やしています。本

館を移転させる開発事業は今、進めるべきではないと考えます。長引く物価高で市民は苦しんでいますが、新年度予算案にはその対策で特段のものは見当たりません。それどころか学校給食費の父母負担増、国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料などの軒並みの値上げで、追い打ちがかかります。国による1回限りの定額減税や給付金支給で、とても間に合うものはありません。医療的ケア児の公立保育所・育成センターでの受け入れや、市民税非課税世帯の新生児聴覚検査費用の助成新設、全小中学校女子トイレへの生理用品の配備などについては評価するものですが、予算案全体には反対しました。

あなたの声を市政に!

よつや 薫
村上ひろし(長)
佐野ひろみ

当会派は、私、村上ひろしとよつや薫議員とれいわ新選組の佐野ひろみ議員の3人で結成し



た会派です。実は、選挙の時に無所属として選挙に出ていても政党に属していないだけでどこかの会派に属している議員も多いのです。西宮市議会では3人以上の議員でないといと会派を結成することができません。現在、西宮市議会では7つの会派があります。議会運営委員会という組織で議会の決め事が話し合われ、そこでは会派に属さない無所属議員は、議決権が認められておりません。今回議員の長期欠席に関する改悪ともいえる条例改正が議運で全会派一致の議運発の議案として議会に提案されることでした。そこで、この議案に反対する我々が会派を結成して議運発の議案提出を阻止しました。本来は病氣や仕事や親の介護など諸事情があっても議員としての務めを果たすことが出来るようにオンライン参加を認めるなどの議会の仕組みを整えるのが肝要と考えます。そうでないとい長期療養中の人や専門的知識を持ちながら仕事が忙しい人や例えば極論ですが人工呼吸器をつけた方は議員に立候補することをあきらめてしまいかもしれません。また、今回

議員の厚生年金への加入を求める意見書が出されましたが、これも本来は仕事をしていても議員の活動ができる仕組みがあれば必要のない意見書です。我々は行政に単に要求を突きつけるのではなく指摘するところは指摘して、対話ダイアログを重ねて西宮市民の声を市政に届けていきたいと考えています。また、私たちは所属議員同士も自由に意見を言うことができるダイアログあふれる会派です。そして南米アンデス地方先住民に伝わるハチドリのようにとととという話にあるように、私たちは今、私たちにできることをただただしていくことで、新しい旋風を議会にもたらす会派です。ご期待ください。



一般質問

20人の議員が
市政に対する一般質問を
行いました。質問の
一部をご紹介します。

地区計画の見直し

地区計画とは、都市全体の観点から広い範囲に亘って定める都市計画と違い、最も生活に密着した地区毎に街づくりを行う計画である。しかし開発当時、限られた年齢構成の世代が一言に入居し、偏った年齢構成である為一言に高齢化する。つまり開発当時と今とでは、住民の求める生活環境は、様変わりするものである。市としては、指定地区の課題等を精査し、時代の趨勢に即した地区計画の見直しを誘導する必要がある。市の考えを示せ。

地区の実情に応じた柔軟な地区計画の変更など、社会情勢の変化に即した方策について、国・他都市の動向や学識経験者



坂上 明
啓誠会

等の意見などを参考に進めたい。

国歌斉唱の指導

1月19日刊行の産経新聞に「閉鎖性が偏向教育招いた」との見出しの下、国歌君が代を軽視する国立大付属小についての記載があった。学習指導要領に反する授業が常態化していたとの事だが、本市では、学習指導要領記述通り、どの学年でも国歌が教えられ、いつでも歌える様指導しているのかどうか。

学習指導要領に記載されているように、国の繁栄と平和を祈念した歌であることを理解し、小学校のどの学年も歌えるよう音楽の授業で指導する。
(質問時間66分)

中小零細業者の受注機会拡大のための制度だが、一件の金額は税込みで50万円を超えないものとする設定されており、平成21年から変更されていない。増額について聞きたい。

近年の急激な物価高騰は



佐野ひろみ
あなたの声を
市政に!

認識している。金額の変更は慎重な判断が必要だが、制度の目的や事業者への影響、周知期間等も考慮し実施に向け検討する。

夙川公園のキョウチクトウの伐採

夙川公園のキョウチクトウの伐採について住民とどのように合意形成を図ったのか。

桜の成長阻害等による伐採で、理由や実施時期を現地に掲示し約2週間周知した。今後はホームページにて撤去後の変化等の情報発信に努める。
(質問時間30分)

带状疱疹ワクチン接種の費用助成の継続

带状疱疹ワクチン接種費用助成は、一人一回限りで県と市合わせて4千円が予定されている。これは単年度で終了することなく、継続する必要があると思うが市の考えは。



松田 しげる
公明党議員団



問 県が創設する助成事業は令和6年度限りとされており、7年度以降は国に定期接種化を要望し、6年度の市町の実施状況を踏まえて事業実施を検討予定とされている。市が費用助成を実施した場合は、継続した事業実施が必要と考えており、7年度以降の制度継続に向けた働きかけを県に行っていく。



健康ポイント事業の今後

問 健康ポイント事業の中断は、参加者にとって非常に戸惑いを生んでいる。また健康維持に対するモチベーションの低下や「歩く」ことへの「コミュニケーション」がなくなることが予想される。本年10月以降について、市民の健康促進という観点から費用を抑えて何らかの取り組みを実施できないのか。

答 「歩くこと」は健康保持に有用で、かつ気軽にできる重要な取り組みと認識している。現在の事業は、本年9月でいったん、効果検証のため中断と

なるが、「歩く」という取り組みを事業中断後も継続できるように、委託事業者とスマホアプリの活用などの協議を行っていく。
(質問時間40分)



無所属
一色 風子

部活動の地域移行に関する子どもへの意見聴取

問 部活動の地域移行において当事者の子どもへの意見を聴くべきと思うがどうか。

答 子どもの意見を聞くことの重要性は認識している。現在アンケート調査等の実施に向けての検討を続けており、時期や対象、質問事項を十分に検討する必要があると考えている。



財政構造改善の取り組みによる各種計画策定業務の見直し

問 計画等策定業務の見直しについて、見直しに係る議論の場を持つべきと思うがどうか。

答 施策における位置付けや策定過程がさまざまなため、各計画の改定時期に合わせ、これ

までの策定経緯も踏まえた上で、見直しの検討や議論を進める。
▼その他の質問 西部総合処理センター焼却施設整備事業
(質問時間26分)



あなたの声を市政に!
よつや 薫

非常勤特別職の報酬の支給方法

問 県は非常勤特別職の行政委員報酬が月額制だったものを日額制に改める。市も地方自治法の本来の趣旨も踏まえ日額制に改めるべきではないか。

答 職務の性質、内容等を総合的に勘案して判断している。中核市では一部月額制を採用する市が多いが、県の動きもあるため他自治体の動向を注視する。

西宮市パートナーシップ宣誓証明制度の対象範囲拡大

問 県が予定しているパートナーシップ制度は事実婚もその対象とするが、市の制度も対象範囲を広げるべきではないか。

答 性的マイノリティ当事者の制度的差別解消を目的にしており、直ちに事実婚を対象にしないが、制度運用の協定締結市町と課題を共有し検討していく。

(質問時間48分)



パートナーシップ宣誓制度の協定自治体(阪神・丹波・淡路10市1町)の共通啓発ロゴ「アライ」



公明党議員団
山口まゆみ

学校内の安心できる居場所「校内サポートルーム」の整備

問 不登校児童生徒数は増加しており、居場所の一つである校内サポートルームについては県が支援員の配置の予算を計上し、近隣市もサポートルーム設置を決めた。本市も人員配置と環境を整えるべきと考えるがどうか。

答 本市の校内サポートルームは、教育相談担当者が中心となり、授業のない教職員の配置や地域の方々の協力など各校の実情に合わせて運営している。現在「居場所サポーター」を週1回3時間程度、小中学校合わせて35校に配置しており、サポートルームの支援員配置は県の新規事業のため今後検討したい。

周産期グリーンケア

問 流産、死産を経験された方は特に悲嘆(グリーフ)が強く、長期にわたることが示されている。研修会に参加した時に、抱える思いを分かち合い、前を向いていきつかけをつくる当事者の会の立ち上げを求める声があった。当事者会などの立ち上げ支援についての市の考えは。

答 市ホームページにて地域で活動する当事者の会などを案内しているが、本市においては、当事者会は存在しないと認識している。まずは、神戸市など近隣市の当事者会の活動状況や西宮市民の参加状況、本市での当事者会の立ち上げニーズ等について調査していく。



市民クラブ
田中あきよ

(仮称)宮っ子つながり支える条例の対象

問 市長の施政方針で「仮称宮っ子つながり支える条例」の制定についての発言があったが、子供自身への条例か、子供を支える大人への条例か。

答 作業中で確定ではないが、基本的に子供中心、子供を支えていく色合いのほうが強いです。子供が意見表明できるなど、子供の視点に立ったものでありたい。

災害時に備えた乳幼児の安全な栄養摂取の啓発

問 災害時の乳幼児の栄養摂取の観点からの母子支援について、乳幼児の健康管理のために母乳やミルクを安全に授乳できるように情報や注意点を日頃から伝える必要があると考えるがどうか。

答 避難所で安心して衛生的に授乳が行えるよう、避難所運営マニュアルの充実や災害時の授乳の注意点に関するポスター等の作成の早期実施を検討する。



感染症による学級閉鎖時のあすなるへの参加

問 不登校の児童生徒が、教育支援センターあすなるに通う場合、在籍学級が閉鎖になると交流しなくても参加できない。今後は参加可にすべきと考えるがいかがか。

答 指導要録上は出席停止だが、社会的自立に向けて重要なため感染可能期間を確認し感染が見られない場合は居場所として受け入れできるように検討する。

(質問時間54分)



前田しゅんじ
日本維新の会
西宮市議員

牛乳を喫食できない児童生徒への対応

問 学校給食の牛乳について、飲んでほしくないと思っている保護者がいる。市の対応は。

答 乳アレルギーや乳糖不耐症、その他の事情により牛乳の喫食ができない場合には、保護者より学校へ相談していただき、各校で養護教諭などが保護者面談を行い、総合的に対応を判断している。

文化芸術振興のための助成

問 文化芸術振興のためのプロジェクトやイベントに対する助成について、市の考えは。

答 市は市民・民間等が企画するイベントに対し、後援やロゴの提供等による支援を行っているが、市がサポートし主役は市民であるほうが盛り上がり

ることから、必要な支援等も検討しながら市民の頑張りを支えていきたい。

文化振興・ビジョンにある豊かな文化芸術の歴史と伝統

問 「西宮の豊かな文化芸術の歴史と伝統」の中身と広報・周知方法を聞きたい。

答 作品に西宮の地名も出てくる能は市内に三つの舞台があり、本市は人形操り発祥の地と言われている。合唱や吹奏楽など音楽分野も歴史が古く、これら関係団体等と連携した事業の実施が広報、周知であると考えており、今後も事業等を通じて豊かな文化芸術を伝えていく。

(質問時間51分)



傀儡師故跡(産所町)



前島のぶなが
日本維新の会
西宮市議員

小中学校における情報モラル教育

問 小中学生がSNSを利用

することで、犯罪被害に遭うなどのトラブルが発生している。本市の情報モラル教育について聞きたい。

答 学年に応じた目標のもと、道徳を始め、各教科で学習を進めている。また出前講座や教員研修の他、県警作成の教材を各校に周知等している。



災害対応の整備促進

問 震災が発生した際には、アウトリーチ手法による伴走型で被災者の自立・生活再建を早期に実現する必要があるが、本市の災害対応の整備促進について聞きたい。

答 災害ケースマネジメントの検討の必要性を地域防災計画に位置付けるとともに関係機関等と連携、協力をして被災者支援充実の仕組みづくりに努める。

滞納債権の適正管理に向けた取り組み

問 重複滞納債権については、福祉的配慮をしながらも、支払督促や訴訟により回収を図るこ

とが有用であるが、本市の対応について聞きたい。

答 法的措置は収納対策本部作成の基準を参考に、費用対効果も考慮し悪質な滞納案件に実施を検討するなど、標準的な債権管理事務モデルに従い進める。▼その他の質問 予算編成の改善に向けた取り組み

(質問時間52分)



三好さつき
日本共産党
西宮市議員

一般避難所における女性や子どもへの配慮

問 避難所における女性や子どもへの配慮について聞きたい。

答 男女別の更衣室やトイレ、授乳スペース、要配慮者向けの福祉避難室を設け、保健師等と協力する。生理用品や粉ミルク等の備蓄を進めており、性被害を防ぐため、注意喚起と警察との連携も必要と考えている。

中央図書館の跡地利用の検討

問 中央図書館の阪神西宮駅北側への移転計画は、再検討すべきと考えるが、移転元の地元住民の声を聴く予定はあるのか。

答 移転後の活用検討は財

政構造改善基本方針等の市の全体的な方針に即することを基本とし、必要に応じて関係機関や事業者等と連携し地域関係者の意見等も考慮し適切に進める。

(質問時間41分)



大川原 成彦
公明党議員団

高齢者の外出支援策

高齢者バス運賃助成事業に加えて、高齢者の移動支援としてタクシードも利用助成できないか。

高齢者施策全般の課題として、高齢者の増加に伴う事業費の増大による各事業の継続性がある。また、認知症施策や重層的支援体制整備事業など、今後、国が示す新たな高齢者施策等の事業経費の増加を考えると、高齢者の新たな外出支援策については、高齢者施策に要する財源の確保など、事業の継続性を踏まえ研究する必要がある。

私道の舗装に関する要件の見直し

西宮市私道舗装等整備に関する要綱の見直しにより、条件緩和を検討中と聞くがどうか。

土地所有者の承諾を得た上で申請があり、一定要件を満たす私道は市が整備しているが、近年多様な要望が増えているため要件等を見直しを進めている。土地所有者の承諾は国ガイドラインの対応とし必ずしも全員の同意を要しないなどに見直し、一方しか公道に接しない私道は、建物数の条件を緩和し、応募状況を確認しつつ同一箇所の整備回数制限撤廃を行う予定である。また、施工までの時間短縮のため民間施工を主体とした助成方式を採用する方向である。改訂は、ホームページ、市政ニュースでお知らせしたい。

(質問時間41分)



庄本 けんじ
日本共産党
西宮市議会議員団

給食費の保護者負担軽減

4月から学校給食費の保護者負担が増える。無償化を目指すべきだが、せめて値上げされた分の市の負担を継続すべき



だと考えるが、市の見解を問う。就学奨励世帯の要件緩和、こども医療費助成制度拡大等の支援に加え財政構造改善を行う状況から、保護者負担の据え置きは国や県の財政支援が不可欠。

北部地域の医療環境

済生会兵庫東病院と三田市民病院が統合すれば、西宮北部の医療が失われる。住民の声をどのように受け止めているか。

(質問時間43分)



おくの 尚美
市民クラブ

戦跡遺構の保存

本郷学文筋の橋の欄干には西宮空襲時の爆撃の痕跡が残っている。暗渠化の工事に際して撤去されないよう、移設し平和学習に活かしてほしい。

地域からの保存の要望を承知しており、平和学習の貴重な現物資料と認識している。今

後、近隣の学校施設や公園など、最適な移設場所や移設時期、設置方法について庁内で検討する。

全小中学校区での避難所開設・運営訓練の実施

阪神・淡路大震災時より人口は約10万人増えているが、一方で、公務員の数は削減されている。当時と同様の対応はできない。避難所開設・運営訓練を全小中学校区で行うべきと考えられているか。

令和5年度は2校区で実施

既に地域が活発な校区を除く全校区で防災訓練の実施を目指す中で、地域の団体に参加を求め、地域との連携を広げ、避難所設営など実践的な訓練を行う。



小学校区防災訓練(鳴尾北小学校)

学校のバリアフリー化

学校のバリアフリー化が進んでいない。バリアフリー化

に対して考えを聞く。

大規模改修工事の際に一定改善を図っているが厳しい財政状況でエレベーター増設や全校舎改築は困難。今後も施設整備に加え人的な対応等を含めた合理的配慮に基づく対応を行う。

(質問時間44分)



おおさこ 純司郎
会派・ぜんしん

介護福祉事業所の人材不足に対応する仕組みづくり

市には介護福祉人材育成に積極的に取り組み、介護福祉の仕事に結びつけるなど、市内の介護事業所の人材不足に対応できるようなシステムを構築してほしいが、取り組み方針は。

多様な人材の参入を促す研修、介護職員初任者研修等の受講費の補助、研修開催時の就職相談等を実施。今後も関係機関と連携して対応に努める。

「賃上げ促進税制」の周知

賃上げ促進税制といった介護従事者の処遇改善のための国の支援策があるが、認知されていない。制度を積極的に使用できるように周知してほしい。

答 国の法令改正がされた後、市内各事業者へのメール送信などにより周知に努め、手続きが円滑に行えるように必要に応じて相談窓口を案内する。

福祉避難所設置・運営

マニュアル

問 日本中で地震が多発するなか、本市36カ所の福祉避難所を迅速かつ円滑に開設するためのマニュアルの作成が大切になる。市の取り組み方針は。

答 平成29年作成のマニュアルを運用中だが、感染症対応や要配慮者の直接避難の課題があるため、協定締結事業所と再協議し必要に応じて見直す予定。
▼その他の質問 防災対策の推進



中尾 孝夫
市民クラブ

市立高校生徒の

自転車ヘルメット着用

問 自転車ヘルメット着用が昨年4月に努力義務化された。市立2高校の自転車利用通学生はほとんど着用していないが、非着用をどう考えているか聞く。
答 努力義務で強制は難しい

ため、安全講習やポスター掲示集会での着用推奨などの啓発に努めている。今後は啓発に加え、着用について意見交流の場を持つなど、生徒自身が命の尊さを考え自発的に着用するように促す。

山口南幹線整備事業

問 拡幅4車線化される都市計画道路・山口南幹線の詳細設計(工事内容等)の概要、その周知時期と方法を聞く。

答 現況幅員16mの2車線道路を32mに拡幅し、両側に歩道を有する4車線道路とする。用地は市有地約2割、県有地約6割、民有地約2割。近隣住民への周知は6年9月ごろを予定し、方法は自治会等と調整する。

丸山線の整備手法

問 都市計画道路・丸山線は事業路線から事業検討路線へ移行するとしているが、想定している別の事業手法を聞く。

答 土地区画整理事業による整備が非常に困難となり別の事業手法の検討が必要となった。今後の事業手法は街路事業などによる整備が想定されるが具体的な事業手法は未定。



ありめ こうへい
日本維新の会
西宮市議員

西宮中央運動公園の避難者への対応策

問 西宮中央運動公園内の西宮中央体育館は避難者約900名を受け入れる計画があるにも関わらず、現在防災備蓄の設置がない。防災対策として備蓄の設置が必要では。

答 再整備事業で倉庫を整備するまで、空きスペースに備蓄できるように関係者と協議中。なお、中央体育館での物資供給対応としては近隣の備蓄倉庫等を利用する。

北部地区におけるマンホールトイレの整備

問 災害発生時、排泄処理が課題となる。災害時において迅速にトイレ機能確保するマンホールトイレは市南部には設置済みだが、市北部にはない。市北部に設置の予定は。

答 最大収容人数の多い施設から優先的に整備を進めており、施設の大規模改修時に整備するケースもある。北部地区の指定避難所は今後順次整備していく。



マンホールトイレ

インターネットによる公民館の予約期限の見直し

問 公民館のネット予約期限は市民ニーズに配慮されていない。他市の事例を参考に、西宮市も期限短縮の見直しを検討すべきでは。

答 申込内容の審査で利用日前10日間はネット予約不可だが、同システムで予約できる他集会施設等と調整を図り、できる限り短縮できないか検討する。



たかの しん
会派・ぜんしん

財政構造改善に対する市長の取り組み姿勢

問 令和4年度決算の実質単年度収支は約42億円の赤字となったが、市長は現状を財政危機と位置付けず、取り組みも十分である。財政状況の厳しさを

真正面から認め、市民に対してオープンにするべきでは。

答 市の財政が危機的な状況に陥りかねない中、今は基本的なサービスをしっかりと維持しているよう危機感を持ってマネジメントしていきたい。

私立幼稚園の採用支援を

問 本市の幼児教育において私立幼稚園の役割は非常に重要だが、先生の採用に苦慮している。私立保育所と同様に市が人材確保への支援を行うべきでは。

答 私立幼稚園は、長年、本市の幼児教育・保育を支えてきた存在と認識している。幼稚園教諭の確保を取り巻く実情をふまえ、就職フェアをはじめとした周知・広報に協力していく。

文書集配業務の見直しを

問 市役所と支所・学校園等との間で文書を集配する業務に年間1千万円超の費用を要している。文書総量を削減し、集配頻度を隔日に変更するべきでは。

答 デジタル化と業務フローの見直しにより文書総量を削減できれば集配頻度を減らせる。費用の削減効果が見込まれるた

め、前向きに取り組みたい。

(質問時間100分)



松本 たかゆき
啓誠会

病児保育の予約

別室保育の予約状況も予約システムに表示させるなど、当日の利用不可の事態を軽減させるような改善を図るべきだと考えるが市の見解は。

医師連絡票を確認し最終決定するため予約が利用を確約するものではないが、部屋ごとの空き状況など詳細な情報をシステム表示し利用可否を予測しやすくする等の改善を検討する。

市政ニュースの見直し

来年度の市政ニュースの広告掲載について、広告枠が全て埋まる状態であれば、翌年はさらに広告枠数を増加するなど、さらなる歳入確保の取り組みが可能と考えるが市の見解は。

令和6年度は歳入の確保のため、紙面レイアウトの見直しで広告本数を増やすほか、広告単価の見直しにより歳入額を一定増額した予算案を計上した。

文化施設予約システムの完全オンライン化

文化施設予約システムの完全オンライン化を進めることは、行政サービスの向上に寄与することはもちろん、市のリンクを効率よく使う上でも有効であると考えるが市の見解は。

現在「公共施設予約システム」の次期更新に向けて協議を進めており、オンライン上で申請手続きを完結できるように運用や仕様の検討を進めていく。



大原 智
公明党議員団

要件を緩和した市独自の奨学金返済支援策

奨学金の返済困難者救済のため、独自の支援策を実施すべきでは。

市は市内中小企業への就業を促す職業紹介等に取り組み、奨学金返済困難者の救済を目的に就業要件を緩和し、市外勤務者等を行う独自の支援策は、産業施策として実施することは困難。今後、他市の状況や効果等を把握し本市でも有効な施策となるか調査、研究する。

市立図書館の司書の効果的な配置

司書の力を活用できる効果的な職員体制への認識は。

正規職員の司書は選書や事業計画、読書振興の企画等広範囲の業務を担い、会計年度任用職員の司書は図書の整理や調査相談業務等の現場業務を主にしている。今後、図書館全体の運営体制の検討の中で、より専門性を生かした効果的な体制となるよう随時検討を行いたい。

学校の包括管理業務委託へのモニタリング制度導入

包括管理業務委託にモニタリング制度を導入すべきでは。

学校施設の維持管理に包括管理業務委託を導入後は、市と受託者が定期的に会議を開催し、業務内容や発注先を精査する仕組みを仕様に盛り込む予定。提案のモニタリング制度の内容も参考にしながら、制度設計に取り組んでいく。



今泉 ゆうた
日本維新の会
西宮市議員

市立中央病院の経営改革プラン

市立中央病院の経営改革プランの進捗はどうか。

令和6年1月分までの実績は病床稼働率71.7%、入院患者数1日当たり108.3人で目標に届いていない。診療所訪問の強化や通常診療分の伸び等で収支はプランと比べ大きなマイナスとはなっていないが、目標達成できるよう努めていく。

職員の身分移管スケジュール

市立中央病院と県立西宮病院の統合による、職員の身分移管スケジュールはどのようなものか。

県では統合前年度の令和7年度に採用試験を実施見込み。市は6年度に、統合新病院での勤務、市職員としての勤務継続、退職等の意向の聞き取りを行うが、最終確認は県の採用試験前の時期を見込んでいる。

個別避難計画作成の市の努力義務

個別避難計画の作成について、市はどのように努力義務を果たしていくのか。

計画の作成促進には、避難行動要支援者8951人から真に支援が必要な方の特定が重

要。絞り込みを行い、優先順位を付け、対象者ごとに福祉専門職との協議を通じて実効性のある持続可能な仕組みを検討する。その他の質問 地域の医療資源の保障、通学における重さ (質問時間57分)

5月臨時会の開催予定

5月	17(金)	提案説明など、議長等議会役職の選挙選任
	20(月)	議長等議会役職の選挙選任

6月定例会の開催予定

6月	17(月)	提案説明
	21(金)	一般質問
	24(月)	一般質問
	25(火)	本会議
	26(水)	本会議 一般質問、質疑、委員会付託
	28(金)	常任委員会
7月	1(月)	常任委員会
	2(火)	委員報告
	4(木)	本会議 委員報告、採決
	5(金)	予備日

▽開催予定時刻は午前10時です。日程は変更される場合があります。▽お問い合わせ先：議会事務局 議事調査課 (0798) 35-33378

議案等審議結果一覧表(令和6年3月定例会)

全会一致で可決等されたもの

Table with 2 columns: 市長提出 (Mayor's Proposal) and 議員提出 (Councilor's Proposal). Rows include budget items like '令和6年度予算 公共用地買収事業特別会計' and various ordinance proposals.

表決態度が分かれたもの

(○賛成、×反対)

Large table showing voting results for various proposals. Columns include '会派名等' (Party Name), '議員名' (Councilor Name), and individual councilors' names. Rows list specific proposals with '○' for approval and '×' for opposition.

- 採決結果の○は、提出された議案等に対して賛成多数で可決されたことを示しています。なお、人事案件の場合は同意、報告などの場合は承認されたことを示しています。
• 採決結果の×は、提出された議案等に対して賛成少数で否決されたことを示しています。
• 「退場」とは、採決に参加しなかったことを示しています。
• 無所属議員は会派に所属していない議員です。

